



<ひとこと>2011年の目標は立てましたか?私の目標は「〇〇になること」です。

# 平成22年度 第3回あいネット運営委員会 12月15日開催

今年度は「市役所の仕事を知らう」というテーマで関係各課をお招きしています。

12月15日は『男女共同参画室』恒岡主査からお話をいただき、その後の意見交換でも委員の皆様から様々な意見が飛び交いました。以下お話の抜粋です。男女共同参画室は、「男女が平等に暮らすまち柏」を掲げて...

1. 人権が尊重され男女が自立した社会の実現。
  2. 自由な選択と多様な生き方を認めあう社会の実現。
  3. 男女共同参画で築くまちづくりの実現...
- を基本理念としています。  
男女共同参画室の取り組みとして、次のような活動があります。

□柏市インターネット男女共同参画推進センター(愛称は参画eye)を開設。毎月、テーマが変わる交流ひろばという市民の方のネット上での意見交換の場を設けています。

□シンポジウムや講演会の開催。「女性のこころと生き方相談」の実施(女性相談員が心の整理をお手伝い)

□柏市男女共同参画推進計画の進行計画の進捗管理。男女共同参画に関する市民意識調査。市民の意識としては、「女性の育児負担が大きい」や、「子育て(仕事を続けたい、保育サービス)介護、仕事、不妊治療支援など」の声があるとのこと。

委員からは...  
★男女は教育の過程では平等だが、社会に出るにつれてだんだん平等の均衡が崩れてきているように思う。

★社会では何故、男性優位と言われているのか...。戸籍制度は日本だけ、表札の明記も夫のもの。古いしきたりの名残もあるかもしれない。

★子育てをしながら働くことは大変なこと、特に母親への負担が大きいと思う。

★男性、女性でそれぞれ特化している分野はある。それぞれのすりあわせができるか...という意見がありました。

☆日本において男女間の格差・固定観念等は、様々な取り組みや呼び掛けにより改善されてきていますが、まだ改善すべき点は多くあると感じます。育児負担、出産、介護疲れ、少子化、男性の自殺率増加...これらの問題は、どちらか一方に大きな負担がかかっておきているのではないかと思われました。今、社会に根付いている様々な性別間のギャップを埋めていくことが問題の解決に繋がっていくのではないかと感じ、さらには男女格差、経済的格差は社会全体で取り組んでいかななくてはならないことだと感じた委員会でした。



## 中核シンポジウム

11月30日に中核地域生活支援センター2010年度シンポジウムが開催されました。

最初に山野良一氏から「この国の貧困と子どもたちの未来」と題して基調講演がありました。子どもが貧困であるためと山野氏は語ります。それは、女性の非正規労働者が多いという問題です。就業構造基礎調査2007における、全国母子世帯調査においても、母親の勤務体系が「臨時、パート」43.6%というデータが出ています。貧困の連鎖を防止するためにも、ひとり親の女性が正規職員で働けるような社会のあり方をみんなで考えていく必要があると感じました。

その後、「市町村福祉の中での中核センターの役割と機能」というテーマで5人のシンポジストからお話がありました。行政では専門の縦割りが進んでおり、横断的にケースに関わる事は難しいのが現状です。しかし、多問題家族への対応では、一つの機関(部署)では対応しきれない場合が多く、他機関(他部署)との連携が必要になります。そういったケースにおいては、中核は相談者に横断的な関わりが出来るため、結果として支援機関をつなぐ役割を担う事が出来るとの事でした。相談者の問題を整理していくと、その背景にある障害や貧困、家族問題等が見えてくる事があります。場合によっては、複数の支援機関が関わる事もあります。

## 手話ってたのし、むずかし、奥深し

11月からオーケの会の協力を得て、市民有志で手話サークルを始めました。月曜日の18時30分から仕事帰りの面々が集まります。少し前からドラマや手話を交えた歌など、目にすることは珍しくないとはいえ、やるのは初めて。最初は自己紹介を手話で習うことから始めました。手話のプロである当事者の講師のユーモアに緊張を解かれながら和気藹々に行われています。手話にもいろいろあるようですが、私たち初心者です。習っているのは『日本手話』というらしく、「わたし 名前〇〇 よろし

く」と口の動き(声)や表情と合わせて表現するものです。しかし指10本あるもののなんとどこもこない!講師の豊かな動きに魅せられます。手話では会話にはあまり使わず、ましてやどうにでも取れるような表現はないこともわかりました。休憩の間も手話の復習をして講師に休憩を取らせないメンバーで、1時間半はあっという間に経っていきまます。せっかく習ったものは使わないとだめよねが最近のメンバーの思いです。



横断的に相談者に寄り添い、一緒に悩みながら考えていく中核のような存在が相談者には必要なのではないかと改めて感じました。



## 新年明けましておめでとうございませう

昨年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくおねがいいたします。



- 永桶 静佳
- 吉武 信穂
- 白田 東吾
- 川野 優
- 中野 さおり
- 佐々木 誠子

## 社会福祉法人いづみ 生活援助センター

初石病院に隣接する、主に精神障がい者を対象とする就労継続支援B型・工房スノードロップ。1日平均30名ぐらいの方が通うこの場所は、一般就労をしたいが自信のない方、働いてみたがうまく続かない方、働く事そのものに不安のある方に「働く場所」を提供し、実際に働く事を通じて不安や心配を自信に変えていくところです。作業内容はパンの製造・販売、洗濯作業、物品販売、喫茶業務等があります。利用開始時にご本人の興味のある作業を選択する事が出来ます。パンの製造・販売では、焼きたてパンが食パン・丸パンをはじめ、菓子パン等も数種類あり、店頭での販売に加え、外部販売も行っています。作業する時間以外にもパソコン教室、スポーツ等のリフレッシュや技術を身につける時間があります。

スタッフの方は、メンバー（通所者）主導で作業を行えるよう、一緒に考え、見守る姿勢を大切にされていました。

スノードロップの2階には福祉ホームB型の「元気ハウス」があります。定員20名のこの場所は、アパートで一人暮らしがしたいが自信がない、生活リズムが崩れやすい等、生活リズムや服薬管理、金銭管理など日常生活における心配事のある方に、生活の場を提供しつつ専門のスタッフがお手伝いをしながら安定した生活を実現していくための練習をするところです。定期的な通院、薬の自己管理が出来るようになることが一番と考えており、金銭管理については、スタッフと一緒に買い物や銀行の利用の仕方を覚えていく場合もあります。食事は昼、夕に宅配弁当を注文することも出来るが、自炊も可能で、共有スペースには電気調理器、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器などが置かれ自由に使う事が出来ます。

入居者がグループホーム、一人暮らし等、地域に向けて進んで欲しいという施設側の願いを感じる事が出来る空間でした。

かしわ  
柏うお～か～

あいネットが気になる街の事業所にお邪魔します。

問い合わせ・連絡先：

社会福祉法人いづみ 生活援助センター

〒277-0885

千葉県柏市西原 7-6-2



・工房スノードロップ（就労継続支援B型事業所）

Tel/Fax：04-7152-3330 / 04-7152-3422

・元気ハウス（精神障がい者福祉ホームB型）

Tel/Fax：04-7152-7600 / 04-7152-7699



初石病院に行った際に、時々スノードロップのパンを購入します。値段も大きさもお手ごろで、小腹がすいた午後の昼下がりに最適です（なかの）



12月からあいネットに入りました吉武信穂と申します。40過ぎのオールドルーキーです。新たなことを吸収し、今までの企業での人事経験やうつ病の方の支援経験も活かしつつ、微力ながら地域の方々そして地域の発展のため努力してまいります。



## おしらせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707FAX:04-7165-8709)まで◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
平成22年度柏市男女共同参画シンポジウム「仕事も家庭も地域も楽しむ」 ワーク・ライフ・バランスしたいあなたに～やりたい やれる やってみよう～ 講師：駒崎弘樹 氏 (NPO 法人フローレンス代表)	2/5 (土) 第1部 12:30 ～14:15 (開場 12:00) 第2部 14:45 ～16:30	アミュゼ柏  (手話通訳・要約 筆記・保育あり) ※保育は1歳以上の 未就学児・定員10人	無料	必要  往復はがき インターネット  12/16(木)から 先着順	柏市役所 男女共同参画室 TEL:04-7167-1127 ※応募は1通につき2名まで ・往復はがき＝〒277-8505 柏市男女共同参画室あて ・ホームページ＝ <a href="http://danjo.city.kashiwa.lg.jp">http://danjo.city.kashiwa.lg.jp</a>
平成22年度 千葉県在宅がん緩和ケアフォーラム～がんでも、住み慣れた地域で安心して過ごせるように～ 特別講演：「がん哲学外来からみた相談支援のありかた」 講師：樋野 興夫 氏 (順天堂大学医学部病理・脳瘍学教授) 基調講演：「このまちで健やかに暮らし、安心して逝くために」 講師：秋山 正子 さん (白十字訪問看護ステーション統括所長)	2/20 (日) 13:00 ～16:30 (開場 12:00)	千葉市文化センター 3階アートホール  千葉市中央区中央 2-5-1 (JR千葉駅、 京成千葉中央駅より 徒歩10分)	無料	必要  FAX・メール  事前申込は2/13 ×切 以後は当日受付	問い合わせ： 千葉県在宅緩和ケア支援センター (千葉県がんセンター内) TEL:043-264-5465 FAX:047-495-9555 Eメール:kanwaforum@gmail.com  主催：千葉県・千葉県がんセンター・NPO法人千葉・他